

# ヒルギダマシ

ぜつめつ きく  
絶滅危惧Ⅱ

か めい  
科名 クマツヅラ

べつ めい  
別名

がく めい  
学名 Avicennia marina



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶ  
分 布 おきなわ みやこじまいなん たいわん とうなん とう  
沖縄 (宮古島以南)、台湾、東南アジア等

は かたち  
葉 の 形 ちょうだえんけい らんけい  
長楕円形、さかさ卵形

は ぶち  
葉 の 縁 ぜんえん  
全縁

は さき  
葉 の 先 どんけい  
鈍形

は しゆるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい  
葉 の 付方 対生

は きぶ くさびがた  
葉 の 基部 くさび形

み しゆるい さくか  
実 の 種類 蒴果

はな がくいろ きいろ  
花・萼色 黄色

せつ せい  
説 明 マングローブ林の最も海側部分に生育します。高さは、熱帯地方では20mを超えるそうですが、西表島では2m程度で円盤状に広がっています。地中から呼吸根(筍根)を出しますが、マヤプシキの筍根より細くて軟らかです。葉は対生し、細長い卵形をしていて、根から吸い上げた塩を葉の裏面から排出します。